

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類													
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。													
カリキュラム（科目一覧）				Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。													
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ＊・・・法・文・経営・国際文化 ▼・・・法・文・経営 ★・・・法 □・・・キャリアデザイン				Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。													
				Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。													
				Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。													
				Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。													
				Ⅵ. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会文化に関する理解を深める。													
				Ⅶ. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な生活を送る能力を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で求められるコミュニケーション、リーダーシップの養成など社会生活に必要な能力の育成。3. スポーツ活動を通じた自己肯定感の醸成、健康な学生生活や社会生活を営む能力を涵養する。													
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目												
日本文学と文化LA●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	・絵巻に関する基礎的な知識を習得する。 ・『源氏物語絵巻』の特質を理解する。 ・平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。 ・現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絶唱化されたか、源氏絵の経緯を理解する。				◎									
日本文学と文化LB●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	・説話文学の特質について理解する。 ・絵巻に関する基礎的な知識を習得する。 ・能・歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。				◎									
日本文学と文化LC●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。				◎		○							
日本文学と文化LD●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上				◎		○							
日本文学と文化LE●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	本講義では、能と狂言の基本を理解し、自分の言葉でこの芸能を説明できることを目標とする。能と言えば「幽玄」、狂言と言えば「あかし」などの固定概念で説明されることが多い。そうした概念の言葉ではなく、自身の言葉で能を形容できるようになるのが、目標である。				◎									
日本文学と文化LF●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	◆能・狂言・人形浄瑠璃・歌舞伎の古典芸能の基本知識を習得し、それぞれの芸能の特色を自身で分析できる。 ◆古典文学と古典芸能の関係について理解する。				◎									
日本文学と文化LG●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	アニメーション作品を分析的に解説し、作品の仕掛けや表現方法や物語の作り方について、自分の言葉で説明できるべしを目標とする。関連資料を参照したり、さまざまな意見に目を通したり、作品のモデルとなった場所に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、思想的背景について学び、深い理解へと達し、対象を「論じる力」を磨きます。				◎									
日本文学と文化LH●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	現代日本文学の多様なジャンルの小説を読み、作品の中から議論の俤となる要素を抽出し、分析することで、家族関係や社会システム、個人の生き方、性、死、ジャンル、歴史などの問題について考える力を養います。映像表現と言語表現を比較対照することで、メディア固有の表現や相互関係性についても学びます。				◎									
外国文学と文化LA●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	芸術作品を観賞しつつ、批評、分析の手法を身につけます。春学期に設定されたこの科目では、基礎としての論文の書き方を学びます。この授業を履修することで、報告、論述文を書く基礎的な力がつきます。また出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識を身につけることができます。	○			◎									
外国文学と文化LB●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	芸術作品を観賞しつつ、さらには批評、分析する手法を身につけます。この授業を履修することで、報告、論述文を書く基礎的な力がつきます。また出版、メディア、教育などの分野で働くための基礎的な知識を身につけることができます。	○			◎									
外国文学と文化LC●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。 ・近体詩の規則を理解し、それに従って漢詩の実作をする。 ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。				◎									
外国文学と文化LD●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上				◎									
外国文学と文化LE●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。				◎									
外国文学と文化LF●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上				◎									
外国文学と文化LG●	LIT200LA	外国文学と文化LG●	LIT200LA	・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる。 ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する。 ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける。				◎									
外国文学と文化LH●	LIT200LA	外国文学と文化LH●	LIT200LA	・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる。 ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する。 ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける。				◎									
文学と社会LA●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。 ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。				◎		○							
文学と社会LB●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	同上				◎		○							
文学と社会LC●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存問売物』を通じて理解することが目標。 くすし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。				◎		○							
文学と社会LD●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	くすし字で書かれた文章（平仮名の部分）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。各自の担当部分をすべてを熟読すること、どんなことについて書かれているかについて考察し、テキスト全体を理解することが目標になります。				◎		○							
文学と社会LE●	LIT200LA	文学Ⅰ●	LIT100LA	創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。				◎		○							
文学と社会LF●	LIT200LA	文学Ⅱ●	LIT100LA	これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみなさん。法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。				◎		○							
音声学Ⅰ●	LNG200LA	言語学Ⅱ*	LNG100LA	この授業では、「音声学」の記述方法であるIPAの方法論的な考え方を身につけ、IPAを音素化したり、実際の音声をIPAによって記述するための基礎的な技能を訓練することを目的とします。				◎							○		
哲学LA●	PHL200LA	哲学Ⅰ●	PHL100LA					◎									
哲学LB●	PHL200LA	哲学Ⅱ●	PHL100LA					◎									

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類										
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 II. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とのかかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を使う。 III. 自然科学分野 自然科学系のI L A C科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 V. 英語分野 英語系科目（I L A C科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神身体を自己管理し、社会生活に必要な基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で求められる能力であると考えられる、他者との協調性、問題解決能力を育成するための協働学習、コミュニケーション、リーダーシップの育成力や自己管理能力などの育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スポーツ活動を通じて、他者との関係を深め、意欲で健康的な学生生活や社会生活を営める力を涵養する。										
カリキュラム（科目一覧）														
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ●・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ♡・・・国際文化 ★・・・法 ♣・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン														
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
哲学LC●	PHL200LA	哲学 I ●	PHL100LA				◎							
哲学LD●	PHL200LA	哲学 II ●	PHL100LA				◎							
倫理学I ●	PHL200LA	倫理学 I ●	PHL100LA	「倫理学」という学問について、基礎諸学（哲学、法学、経済学、政治学など）との関連を把握することができる。 応用倫理の観点から、「生命倫理」と「ケアの倫理」の異同について理解することができる。 「正義の概念」と「ケアの倫理」についての歴史的背景について、具体的に述べることができる。 「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学際的な問いについて説明することができる。			◎		○					
倫理学II ●	PHL200LA	倫理学 II ●	PHL100LA	同上			◎		○					
論理学I ●	PHL200LA	論理学 I ●	PHL100LA	・新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、的確な要約を行うことができる。 ・上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。	○		◎							
論理学II ●	PHL200LA	論理学 II ●	PHL100LA	・統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。 ・与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。	○		◎							
東洋史LA ●	HIS200LA	東洋史LA ●	HIS200LA	・16世紀から20世紀半ばまでの南アジア史に関する基礎知識を獲得すること。 ・様々な一次史料の存在について知り、「歴史を研究すること」の難しさと面白さに関して理解を深めること。			◎							
東洋史LB ●	HIS200LA	東洋史LB ●	HIS200LA	・20世紀半ばから現在に至るまでの南アジア史について、特にインド、パキスタン、バングラデシュを中心としつつ基礎知識を獲得する。 ・現代南アジアの諸問題について、歴史的背景を踏まえたうえで理解を深める。			◎							
東洋史LC ●	HIS200LA	東洋史LC ●	HIS200LA	本科目の目標は、受講者が、15世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。			◎							
東洋史LD ●	HIS200LA	東洋史LD ●	HIS200LA	本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。			◎							
西洋史LA ●	HIS200LA	西洋史 I ●	HIS100LA	学生が古代ギリシアの運動競技についてを具体的に考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とする（つまり、試験で問われるところでもある）。			◎							
西洋史LB ●	HIS200LA	西洋史 II ●	HIS100LA	同上			◎							
西洋史LC ●	HIS200LA	西洋史 I ●	HIS100LA				◎							
西洋史LD ●	HIS200LA	西洋史 II ●	HIS100LA				◎							
西洋史LE ●	HIS200LA	西洋史 I ●	HIS100LA				◎							
西洋史LF ●	HIS200LA	西洋史 II ●	HIS100LA				◎							
日本史I ●	HIS200LA	日本史 I ●	HIS100LA	教科書を通して学んだ歴史は、年号や用語を丸ごと覚えるなど、苦学だ、面白くないといったイメージがあります。しかし、本来、歴史は様々な発見、資料を通して読み解いていく創造する学問です。本講座は、特に豊富な資料を有する近世という時代を取り上げ、具体的な事例をあげながら、楽しく歴史を学び、考える力を養います。			◎							
日本史II ●	HIS200LA	日本史 II ●	HIS100LA	従来、近世は封建的な身分制社会のもとに四民が厳格に編成されていました。しかし、成長の文化や文芸に触れることで、これまで教科書で学んできた時代とは別に、そこには豊かな歴史イメージを磨かれます。本講座では、当時の人々の生活を様々な史料を読み解きながら、歴史を学ぶ視点や方法論を培います。			◎							
宗教論I ●	PHL200LA	宗教論 I ■□	PHL100LA	レヴェナスの思想の概要を理解し、説明できる。 現代ヨーロッパにおける宗教と思想の関係を理解できる。			◎							
宗教論II ●	PHL200LA	宗教論 II ■□	PHL100LA	レヴェナスの思想における宗教性の問題を理解し、説明できる。 近現代ヨーロッパ思想におけるユダヤ性の問題を理解する。			◎							
2群														
経済学LA ●	ECON200LA	経済学 I ★☆◆■□	ECON100LA	1. 経済学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。 2. 経済学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。 3. 経済学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。			○		◎					
経済学LB ●	ECON200LA	経済学 II ★☆◆■□	ECON100LA	「近代経済学の再検討」を通じて、21世紀の世界経済が抱える問題の背景、原因を考えることができる。さらに、「近代とはいかなる時代か」を考えることができるようになる。 専攻前の「経済学IA」で到達目標としたことをさらに高めることができる。			○		◎					
心理学IA ●	PSY200LA	心理学 I ●	PSY100LA	心理学とは何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。 2. 心理学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。 3. 心理学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。					◎					
心理学LB ●	PSY200LA	心理学 II ●	PSY100LA	心理学とは何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。 2. 心理学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。 3. 心理学が何を研究しているのか、その学問の歴史や発展は、そのときどきの時代背景とともに変化してきたのを見て、それを学ぶことによって日本の「失われた30年」の背景や未来を学ぶことができる。					◎					
地理学LA ●	GE0200LA	地理学 I ●	GE0100LA	本授業では、世界の都市圏に注目し、各地域と異なる都市圏を比較することから、都市の立地環境や都市形成の歴史を考察します。各地域における各地域の文化や通商の歴史、現代社会と都市の発展から見て、その都市の発展や都市圏の形成に注目する。その都市圏の形成から見ていきます。本授業を通して、様々な地域の歴史・文化・経済・社会を総合的に捉え、異なる地域の比較を通じて、都市圏の形成に地理学に与える力を与えることを目標とします。					◎					

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類												
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・自校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 II. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である。ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を使う。 III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を把握し、批判的に分析する能力。3.専門領域での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 VI. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 Ⅶ. 実務教育分野 1.身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者との対話・問題解決などを促進するための協働性、社会性など、就業力（価値観・倫理・コミュニケーション・リーダーシップの育成）や自己管理能力などの育成につながる様々なスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通じて、他者との関係を深め、豊かな健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。												
カリキュラム（科目一覧）																
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ◎・・・国際文化 ＊・・・法 □・・・キャリアデザイン																
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目											
中国の文化と社会IA●	ARSe200LA	中国の文化と社会I▽	ARSe200LA	中国の文化と社会についての理解を深めます。											◎	
中国の文化と社会LB●	ARSe200LA	中国の文化と社会II▽	ARSe200LA	同上											◎	
中国の文化と社会LC●	ARSe200LA	中国の文化と社会I▽	ARSe200LA	1.中国の演劇作品に描かれる時代背景や社会情勢を理解することができる。 2.作品を通じて理解したことや疑問点を整理し、まとめることができる。 3.自校の文化との相違点については比較し考察できる。 4.これまでの日中交流の歴史を回顧し、その上で今後の自分たちの時代の日中関係についても各自の考えを持ち、述べることができる。											◎	
中国の文化と社会LD●	ARSe200LA	中国の文化と社会II▽	ARSe200LA	同上											◎	
中国語の世界IA●	ARSe200LA	中国語の世界I▽	ARSe100LA	中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、中国語ということばを通してみえる世界が、日本語を通してみえる世界とはいかに違うか、を実感してもらえればと思います。また、ことばについて知ることで、彼ら自身についても新しい発見をしたり、新しいものの見方ができるような授業を心がけます。											◎	
中国語の世界LB●	ARSe200LA	中国語の世界II▽	ARSe100LA	中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、漢字という文字体系が、中国語や中国的思考法といかに結びついているのか、を理解してもらえればと思います。											◎	
スペイン語の世界IA●	ARSa200LA	スペイン語の世界I▽	ARSa100LA	本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。とくに、言語・地域・文化を軸に、スペインやスペイン語圏の社会の多様性を学ぶことにより、既存の枠組みを再考し、多様性を有する社会のあり方について捉えなおすきっかけを提供したい。											◎	
スペイン語の世界LB●	ARSa200LA	スペイン語の世界II▽	ARSa100LA	本講義では、また、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。とくに、言語・地域・文化を軸に、スペインやスペイン語圏の社会の多様性を学ぶことにより、既存の枠組みを再考し、多様性を有する社会のあり方について捉えなおすきっかけを提供したい。											◎	
朝鮮の文化と社会IA●	ARSe200LA	朝鮮の文化と社会I＊	ARSe200LA	春学期には、朝鮮・韓国に関する入門書のテキストに沿って、朝鮮・韓国の文化と社会を概観する。											◎	
朝鮮の文化と社会LB●	ARSe200LA	朝鮮の文化と社会II＊	ARSe200LA	秋学期には、主に現代韓国文化と社会について、ひと通り概観することが到達目標である。											◎	
5群																
健康の科学IA●	HSS200LA	健康の科学I▽	HSS100LA	・青年期～中年期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。 ・学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。	○											◎
健康の科学LB●	HSS200LA	健康の科学II▽	HSS100LA	・高齢期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。 ・学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。	○											◎
外国語科目																
English I I▽	LANe100LA	English I I▽	LANe100LA	速読による多読を基本とし、大意を捉えて内容を要約する思考力、批判能力を養います。また、さまざまな文章を読むことのできる語彙力を身につけます。					○		○		◎			
English I II▽	LANe100LA	English I II▽	LANe100LA	速読による多読を基本とし、大意を捉え要約する力を養います。また、多読にむかえるテーマの文章を読むことで、さまざまな分野の語彙・表現を身につけます。					○		○		◎			
English2 I I▽	LANe100LA	English2 I I▽	LANe100LA	受講生は、短いものであれば、ある程度正確な英文を書けるようになる。また、身の回りのことについて、口頭で英語で表現できるようにする。					○		○		◎			
English2 II I▽	LANe100LA	English2 II I▽	LANe100LA	学生は身の回りの状況を英語で表現できるようにする。短いものであれば、英語でプレゼンテーションできるようにする。					○		○		◎			
English3 I I▽	LANe200LA	—	—	Students will be able to grasp the meaning of utterances (written/spoken) and express themselves verbally or in written form. At the same time, they should attain a deep understanding of the issues that are chosen as class material, which shall result in the ability to contextualize Japan within diverse frameworks. Vocabulary building and critical thinking skills will also be promoted.					○		○		◎			
English3 II I▽	LANe200LA	—	—	同上					○		○		◎			
Academic English R&W I★	LANe100LA			Students will study and practice a number of valuable academic reading and writing skills including: skimming, scanning, vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organizing ideas logically and writing and revising drafts. They will read and write a variety of authentic texts such as articles, essays, and stories. Students will develop their ability to accurately understand authentic texts and think critically about them. Students will also develop their ability to express their opinion, exchange knowledge and experiences in a clear and attractive way in the written form. Additionally, students will give critical feedback to classmates on their writing and receive useful feedback in return. Students will practice self-editing and peer editing as important methods to improve their work.					○		○		◎			
Academic English L&S I★	LANe100LA	Academic English I★	LANe100LA	Students will study and practice a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking lectures, podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practice many skills including: vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organizing ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinion, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.					○		○		◎			
Academic English R&W II★	LANe100LA			Students will study and practice a number of valuable academic reading and writing skills including: skimming, scanning, vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organizing ideas logically and writing and revising drafts. They will read and write a variety of authentic texts such as articles, essays, and stories. Students will develop their ability to accurately understand authentic texts and think critically about them. Students will also develop their ability to express their opinion, exchange knowledge and experiences in a clear and attractive way in the written form. Additionally, students will give critical feedback to classmates on their writing and receive useful feedback in return. Students will practice self-editing and peer editing as important methods to improve their work.					○		○		◎			
Academic English L&S II★	LANe100LA	Academic English II★	LANe100LA	Students will study and practice a number of valuable speaking and listening skills that can be used in both academic and everyday situations. Students will watch and listen to inspiring and thought-provoking lectures, podcasts and videos. Students will develop their ability to accurately understand authentic listening texts and think critically about them. They will practice many skills including: vocabulary building, note-taking, identifying main points, summarizing, gathering ideas, researching, outlining, organizing ideas logically. Students will use these skills to improve their ability to express their opinion, exchange knowledge and experiences. Students will discuss, prepare short speeches and presentations, role plays and so on. Furthermore, by using materials on various topics regarding politics, society, history, and culture, students will improve their understanding of various aspects of the world.					○		○		◎			
英語1◇	LANe100LA	英語1◇	LANe100LA	受講生は比較的難しい英文でも臆さずに読めるようにする。専門的な用語も含め、新聞記事や論文などで頻繁に使われる基礎的な英語表現・語句を習得する。					○		○		◎			
英語2◇	LANe100LA	英語2◇	LANe100LA	The aim of this course is for students to develop their English communicative skills necessary in dealing with various situations. At the same time, you should attain a deep understanding of the issues that are chosen as class material. Vocabulary building and critical thinking skills will also be promoted.					○		○		◎			
英語3◇	LANe100LA	英語3◇	LANe100LA	受講生は比較的難しい英文でも臆さずに読めるようにする。専門的な用語も含め、新聞記事や論文などで頻繁に使われる基礎的な英語表現・語句を習得する。 ある程度早く正確に読めるようになる。					○		○		◎			

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 II. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある。思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の課題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を使う。 III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通して、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 VII. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの養成、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（価値観・倫理観・コミュニケーション能力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スポーツ活動を通して、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
カリキュラム（科目一覧）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▽・・・法・文・経営 ◎・・・国際文化 ★・・・法 ◎・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-I □	LANe200LA	Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-I □	LANe100LA	This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as Data management, Etiquette, and Success will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memo or email messages to communicate in written form.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					Ⅱ. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践能力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。												Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。												Ⅲ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。												Ⅳ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。												Ⅴ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。												Ⅵ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。												Ⅶ. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。												Ⅷ. 実用体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神状態や生活習慣に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの獲得、問題解決などを可能とするための知識、社会性など、就業力（情報処理能力や市民行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スポーツ活動を通して、心身の健康を高め、他者との関係を深め、豊かな健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
カリキュラム（科目一覧）					記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類												
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。												
カリキュラム（科目一覧） 科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ◎・・・国際文化 ★・・・法 □・・・キャリアデザイン					Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の問題に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。												
Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。					Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。												
Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。					Ⅵ. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会文化に関する理解を深める。												
Ⅶ. 実習は有り野 1.身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で求められる力であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの養成、問題解決などを養成するための知識や自由行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通じて、他者との関係を深め、豊かな健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。																	
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目												
フランス語3Ⅰ▼	LANF200LA	フランス語3Ⅰ▼	LANF200LA	フランス語文法の基礎を把握し、さまざまな文章に触れることを通して、仏検4級レベルのフランス語力を身につけることを目指します。												◎	
フランス語3Ⅱ▼	LANF200LA	フランス語3Ⅱ▼	LANF200LA	春学期と同様に、フランス語文法の基礎を把握し、さまざまな文章の読解を通して、仏検4級レベルのフランス語力を身につけることを目指します。												◎	
フランス語4Ⅰ▼	LANF200LA	フランス語4Ⅰ▼	LANF200LA	フランス語で簡単な情報交換ができるようになり、簡単な文章も書けるようになるので、メールやSNSでの交流も楽しめるようになります。												◎	
フランス語4Ⅱ▼	LANF200LA	フランス語4Ⅱ▼	LANF200LA	同上												◎	
フランス語(Ⅰ)Ⅰ★	LANF100LA	フランス語(Ⅰ)Ⅰ★	LANF100LA	筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF A 1レベル）に対応しています。旅行中の簡単な会話もできるようになります。												◎	
フランス語(Ⅰ)Ⅱ★	LANF100LA	フランス語(Ⅰ)Ⅱ★	LANF100LA	同上												◎	
フランス語(Ⅱ)Ⅰ★	LANF100LA	フランス語(Ⅱ)Ⅰ★	LANF100LA	筆記試験（フランス語検定4～5級）と口頭試験（DELF A 1レベル）に対応しています。旅行中の簡単な会話もできるようになります。												◎	
フランス語(Ⅱ)Ⅱ★	LANF100LA	フランス語(Ⅱ)Ⅱ★	LANF100LA	同上												◎	
フランス語(Ⅲ)Ⅰ★	LANF200LA	フランス語(Ⅲ)Ⅰ★	LANF200LA	・実習の生活場面に応じた質問と応答を明確な声で話せる。 ・基本的な文型がわかる。 ・平易な文のまじりきを読み、概ね理解できる。 ・フランス語映画やテレビ番組の断片を理解できる。さらには「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）」および「フランス文筆者認定フランス語資格試験（DELF）」A1レベルを目指す。												◎	
フランス語(Ⅲ)Ⅱ★	LANF200LA	フランス語(Ⅲ)Ⅱ★	LANF200LA	同上												◎	
フランス語1◇	LANF100LA	フランス語1◇	LANF100LA	SAアンジェに備え、春semester終了時、少なくとも秋semester終了時には、フランス語実用技能検定試験（仏検）5級合格に相当する語学力の習得をめざします。												◎	
フランス語2◇	LANF100LA	フランス語2◇	LANF100LA	SAアンジェにおいて現地の学校で学ぶために必要な知識と技能を身に付けることを目標とする。 他授業と連携しながら、「聞いてわかる、話す、読む、書く」という4つの側面をバランス良く修得していく。												◎	
フランス語3◇	LANF100LA	フランス語3◇	LANF100LA	SAアンジェに備え、春semester終了時、少なくとも秋semester終了時には、フランス語実用技能検定試験（仏検）5級合格に相当する語学力の習得をめざします。												◎	
フランス語4◇	LANF100LA	フランス語4◇	LANF100LA	SAアンジェにおいて現地の学校で学ぶために必要な知識と技能を、さらに充実させることを目標とする。 他授業と連携しながら、「聞いてわかる、話す、読む、書く」という4つの側面をバランス良く修得していく。特に、様々な社会的場面・状況において対応できるフランス語を修得できるようにする。												◎	
フランス語5◇	LANF100LA	フランス語5◇	LANF100LA	コミュニケーション・スキルズを中心に授業を進めます。												◎	
フランス語6◇	LANF100LA	フランス語6◇	LANF100LA	来年度の留学先（SAフランス）を考慮しながら、フランス語基礎能力をのばすことを目的としています。												◎	
フランス語7◇	LANF200LA	フランス語7◇	LANF200LA	教科書①『Le Nouveau Taxi 11』の文法規則を確実に理解した上で、SAアンジェ滞在中に必要な日常表現を運用できるようにする。 前期の習得範囲で、教科書②『改訂版グラメール・アクティヴ』文法で練習語・構文 La Grammaire active du français』等の練習問題を解くことで、フランス語の基礎文法を習得する。												◎	
フランス語8◇	LANF200LA	フランス語8◇	LANF200LA	SA先フランス・アンジェへ行く前の直前準備講座です。基礎文法と初歩的な会話の復習・予習を徹底し、渡仏前に留学先で困らないようしっかり最大限の準備をします。												◎	
フランス語1-Ⅰ●	LANF100LA	フランス語1-Ⅰ●	LANF100LA	フランス語の初級文法について、代名動詞までを1学期間でマスターする。 DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）のA1レベル到達を目標とする。仏検5級合格を目指す。												◎	
フランス語1-Ⅱ●	LANF100LA	フランス語1-Ⅱ●	LANF100LA	同上												◎	
フランス語2-Ⅰ●	LANF100LA	フランス語2-Ⅰ●	LANF100LA	あいさつ、旅行などで必要なフランス語の基本的な会話表現と聴き取り能力を身につける。 DELF（フランス国民教育省・フランス語資格試験）のA1レベル到達を目標とする。仏検5級合格を目指す。												◎	
フランス語2-Ⅱ●	LANF100LA	フランス語2-Ⅱ●	LANF100LA	同上												◎	
フランス語3-Ⅰ■	LANF200LA	フランス語3-Ⅰ■	LANF200LA	フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検4級レベルへの早期の到達を目指す。												◎	
フランス語3-Ⅱ■	LANF200LA	フランス語3-Ⅱ■	LANF200LA	同上												◎	
フランス語視聴聴入門(Ⅰ)Ⅰ●	LANF200LA	フランス語視聴聴Ⅰ●	LANF100LA	夏休みまで名前、国籍、職業、専攻、年齢、誕生日、趣味、持ち物、電話番号、メールアドレス、兄弟姉妹を言えるようになる。												◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類									
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践能力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。 Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通して、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 Ⅵ. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 Ⅶ. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神状態や自己管理に関する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で求められる力であると考えられる、他者との協調性、社会性など、就業力（価値観・倫理観・コミュニケーション力）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スゴい行動を達成すること、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。									
カリキュラム（科目一覧） 科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ◆・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ◆・・・国際文化 ★・・・法 ◆・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン														
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
フランス語視聴覚(入門)Ⅱ●	LANF200LA	フランス語視聴覚Ⅱ●	LANF100LA	料理の作り方を読んだり、生活習慣の話をしたり、学校の決まり、フランス社会のルール、過去の話、予定を聞き、将来の希望を聞き、たくさんお話を考えるようになる。									◎	
フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ●	LANF200LA	フランス語視聴覚Ⅲ●	LANF200LA	やや複雑なフランス語を聞きとり、話すことができ、書いて読めるようになること。DELF試験のA1レベルに対応しています。									◎	
フランス語視聴覚(初・中級)Ⅱ●	LANF200LA	フランス語視聴覚Ⅳ●	LANF200LA	同上									◎	
フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ●	LANF200LA	フランス語コミュニケーションⅠ●	LANF200LA	初心者者のフランス語でコミュニケーション（話す、聞く、書く、読む）ができるようになること。									◎	
フランス語コミュニケーション(初級)Ⅱ●	LANF200LA	フランス語コミュニケーションⅡ●	LANF200LA	同上									◎	
時事フランス語Ⅰ●	LANF200LA	時事フランス語Ⅰ●	LANF200LA	フランスの「いま」を観察することで、この国に特有の知識を深めると同時に、「外から」日本を見直す機会をもつこと。外国語の学習は、その言語が使用されている国・地域について豊かな知識をもつことと不可分だからです。									◎	
時事フランス語Ⅱ●	LANF200LA	時事フランス語Ⅱ●	LANF200LA	同上									◎	
検定フランス語(初級)Ⅰ●	LANF200LA	検定フランス語Ⅰ●	LANF200LA	フランス語の最初歩を習得すること。1年生で学習した範囲の半分くらいまでにあたります。									◎	
検定フランス語(初級)Ⅱ●	LANF200LA	検定フランス語Ⅱ●	LANF200LA	フランス語の初歩を習得すること。1年生で学習した範囲のほぼ全体にあたります。									◎	
ロシア語Ⅰⅴ	LANr100LA	ロシア語Ⅰⅴ	LANr100LA	ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。									◎	
ロシア語ⅠⅡⅴ	LANr100LA	ロシア語ⅠⅡⅴ	LANr100LA	簡単な会話をロシア語で行ったり、必要最低限の情報をロシア語の文章から得る、またはロシア語で伝えたりすることができる。									◎	
ロシア語2ⅴ	LANr100LA	ロシア語2ⅴ	LANr100LA	キリル文字（ロシア文字）を読み、書けること。アクセントを認識して単語を声で聞き分けられること。まとまった文章を理解できること。手帳の文法を理解し、ロシア語の文章を日本語に訳せること。簡単な単語・表現を把握し、それに的確に応えられること。									◎	
ロシア語2Ⅱⅴ	LANr100LA	ロシア語2Ⅱⅴ	LANr100LA	動詞の活用（現在、過去、未来、命令形）を正確に理解し、使用できること。簡単な会話の場面を再現し、読み分けられること。簡単なロシア語の文章を読み、理解できること。ロシア語を正確に日本語に訳せること。手帳の文法についてロシア語の文法を理解し、的確に応えられること。また、簡単な日本語の文章をロシア語で表現できること。簡単なロシア語の文章を日本語で表現できること。簡単なロシア語の文章を読み、それに的確に応えられること。									◎	
ロシア語3ⅴ	LANr200LA	ロシア語3ⅴ	LANr200LA	格変化、動詞に関連する文法事項を正確に理解できること。簡易的な会話などで行われている構文を正確に理解し、日本語に訳せること。数語が入った表現（時間、年齢、年月日など）を読み、理解し、ロシア語で的確に表現できること。簡単な文法事項が含まれる文章を正確に理解できること。									◎	
ロシア語3Ⅱⅴ	LANr200LA	ロシア語3Ⅱⅴ	LANr200LA	辞書を使ってロシア語の文章を読み、理解し、日本語に訳すことができる。文章の内容に関するロシア語の質問を理解でき、それに的確に答えることができる。簡単な会話表現を理解でき、的確に応えることができる。									◎	
ロシア語4ⅴ	LANr200LA	ロシア語4ⅴ	LANr200LA	既習文法を正しく理解していること。辞書を用いてロシア語の文章を理解し、日本語に訳せること。簡単な文章をロシア語で表現できること。ロシア語での質問を理解し、それに適切に答えられること。アクセントの位置やイントネーションを意識して、文章の音読ができること。									◎	
ロシア語4Ⅱⅴ	LANr200LA	ロシア語4Ⅱⅴ	LANr200LA	辞書を使ってロシア語の文章を読み、理解し、日本語に訳すことができる。文章の内容に関するロシア語の質問を理解でき、それに的確に答えることができる。簡単な会話表現を理解でき、的確に応えることができる。									◎	
ロシア語5ⅴ	LANr200LA	ロシア語5ⅴ	LANr200LA	ロシア語能力試験（T P K I）A1レベルの文法を身につけること。そのレベルの文章を聞き取りできること。ロシア語での主な挨拶ができること。授業で学んだテーマについてロシア語で会話ができること。									◎	
ロシア語5Ⅱⅴ	LANr200LA	ロシア語5Ⅱⅴ	LANr200LA	同上									◎	
ロシア語(Ⅰ)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語(Ⅰ)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。									◎	
ロシア語(Ⅰ)Ⅱ★	LANr100LA	ロシア語(Ⅰ)Ⅱ★	LANr100LA	簡単な会話をロシア語で行ったり、必要最低限の情報をロシア語の文章から得る、またはロシア語で伝えたりすることができる。									◎	
ロシア語(2)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語(2)Ⅰ★	LANr100LA	ロシア語のアルファベットと単語の美しく正確な発音ができる。習字帳などでロシア文字（筆記体を食む）を書けるようになる。初級文法の最初のステップ（名詞、形容詞、動詞の活用など）を教科書できちんと習得する。挨拶などの簡単な会話を覚える。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、過去問や練習問題を解く。「聞く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。									◎	
ロシア語(2)Ⅱ★	LANr100LA	ロシア語(2)Ⅱ★	LANr100LA	ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ初級文法をきちんと使いこなしながら、辞書を用いてテキストの意味を理解し訳訳できる。また、毎時10分以内で解かれるロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、過去問や練習問題を解く。「聞く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。									◎	
ロシア語(3)Ⅰ★	LANr200LA	ロシア語(3)Ⅰ★	LANr200LA	新聞やネットなどのロシア語にも挑戦できる力をつける。									◎	
ロシア語(3)Ⅱ★	LANr200LA	ロシア語(3)Ⅱ★	LANr200LA	新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。									◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類											
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				Ⅰ. 導入科目分野（除情報学分野） 大学として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実話知識・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 Ⅱ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 Ⅲ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にあり、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え、探求の方法、表現力を養う。 Ⅳ. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 Ⅴ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 Ⅵ. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。 2.多様なテーマの英語表現を把握し、批判的に分析する能力。 3.専門課程での研究発表および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 Ⅶ. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 Ⅷ. 専修体育分野 1.専修体育の意義や価値について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神体質や自己管理に関する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、体育とコミュニケーション・リーダーシップの重要性、社会性など、就業力（価値観・倫理観・コミュニケーション能力）の養成につながる種々のスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通じて、他者とのかかわり、他者との関係を深め、豊かな学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。											
カリキュラム（科目一覧） 科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ★・・・法 ●・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目											
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要											
ロシア語1○	LANr100LA	ロシア語1○	LANr100LA	正確にロシア文字を読み、書けること。アクセントの位置、イントネーションを正しく発音できること。ロシア語の文法の基本を説明することができること。									◎		
ロシア語2○	LANr100LA	ロシア語2○	LANr100LA	SAロシアでの授業や生活で困らない程度の日常的なロシア語運用能力を身につけるよう頑張ります。ロシアでの生活は、ロシア語でのコミュニケーションが成り立つことで、その充実度や喜びは数倍も変わります。語彙力と文法力の増強はさることながら、コミュニケーション能力を身につけることに重点を当てます。									◎		
ロシア語3○	LANr100LA	ロシア語3○	LANr100LA	SAロシアでの授業や生活で困らない程度の日常的なロシア語運用能力を身につけるよう頑張ります。ロシアでの生活は、ロシア語でのコミュニケーションが成り立つことで、その充実度や喜びは数倍も変わります。ロシア人留学生との交流を通して、語彙力と文法力の増強はさることながら、コミュニケーション能力を身につけることに重点を当てます。									◎		
ロシア語4○	LANr100LA	ロシア語4○	LANr100LA	既習の文法事項が含まれる平易なロシア語の文章を理解することができ、正確に日本語にすることが出来る。ロシア語での質問を理解し、的確に答えることができる。やさしい文章や自分の考えを自分なりにロシア語で表現できる。									◎		
ロシア語5○	LANr100LA	ロシア語5○	LANr100LA	正確にロシア文字を読み、書けること。アクセントの位置、イントネーションを正しく発音できること。また、ロシア語の基礎的な会話表現の習得を目指します。									◎		
ロシア語6○	LANr100LA	ロシア語6○	LANr100LA	複数性格や、これと密接に関連する数詞を使った表現など、初級文法のなかで習得が困難で、かつ日常的なコミュニケーションに必要な事項をマスターすること。									◎		
ロシア語7○	LANr200LA	ロシア語7○	LANr200LA	ロシアで生活しても困らないレベルのロシア語力の獲得が目標となります。ロシアに行けば、なんとかなるという考えは捨ててください。SAロシアを充実したものにするか否か、この時期の頑張りによって違いが出てきます。									◎		
ロシア語8○	LANr200LA	ロシア語8○	LANr200LA	高度な内容のロシア語の文章を理解し、それについて説明したり議論したりすることができる。									◎		
ロシア語1-Ⅰ■□	LANr100LA	ロシア語1-Ⅰ■□	LANr100LA	ロシア語のアルファベットと単語の美しく正確な発音ができる。習字帳などでロシア文字（筆記体を含む）が書けるようになる。初級文法の最初のステップ（名詞、形容詞、動詞の活用など）を把握できると習得する。簡単なものの簡単な会話ができる。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、単語や文法を着実に身につける。									◎		
ロシア語1-Ⅱ■□	LANr100LA	ロシア語1-Ⅱ■□	LANr100LA	ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ初級文法をきちんと使いこなしながら、授業で用いたテキストの最終を理解し和訳できる。また、毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、練習問題を解く。「聞く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。									◎		
ロシア語2-Ⅰ■□	LANr100LA	ロシア語2-Ⅰ■□	LANr100LA	ロシア語のアルファベットを書え、書けるようになる。単語の美しく正確な発音ができる。習字帳などでロシア文字（筆記体、片仮名、片仮名、片仮名）と数詞の発音を書え、他の簡単なロシア語の初級文法事項を把握する。単語中心の会話ができる。ロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、対象範囲の必須単語や文法などを確実に習得する。									◎		
ロシア語2-Ⅱ■□	LANr100LA	ロシア語2-Ⅱ■□	LANr100LA	授業を中心としたロシア語文法の構造を理解し、変化系を書える。毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級合格をひとつの目標とし、授業および試験問題などの練習問題を身につける。ロシア語テキストを速く正確に音読できる。学んだ文法をきちんと使いこなしながら、授業で用いたテキストの最終を理解し和訳できる。さらにリスニングや会話の練習を通して、「聞く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。									◎		
ロシア語3-Ⅰ■	LANr200LA	ロシア語3-Ⅰ■	LANr200LA	教科書のロシア語基礎文法を学び終え、しっかりと文法力を身につける。特に読解の発展、語法に基いた文法、基礎的な文法にこなせるようになる。基礎文法が対象のロシア語能力検定試験4級の読解の読解問題や会話問題に挑戦し、合格を目指す。授業で学んだより高度な文章の知識ができるようになる。ロシア語テキストを速く正確に音読できる。さらにリスニングや会話の練習を通して、「聞く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。									◎		
ロシア語3-Ⅱ■	LANr200LA	ロシア語3-Ⅱ■	LANr200LA	教科書を習熟しながら、ロシア語の基礎文法を習得し、読解し、練習に自分のものとする。より高度なテキストに挑戦し、合格を目指す。授業で学んだより高度な文章の知識ができるようになる。ロシア語テキストを速く正確に音読できる。さらにリスニングや会話の練習を通して、「聞く、読む、話す、書く」、四方向からの語学力をバランスよく身につける。毎年5月と10月に開催されるロシア語能力検定試験4級の合格を目指す。									◎		
中国語1Ⅰ▽	LANc100LA	中国語1Ⅰ▽	LANc100LA	読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。									◎		
中国語1Ⅱ▽	LANc100LA	中国語1Ⅱ▽	LANc100LA	同上									◎		
中国語2Ⅰ▽	LANc100LA	中国語2Ⅰ▽	LANc100LA	同上									◎		
中国語2Ⅱ▽	LANc100LA	中国語2Ⅱ▽	LANc100LA	同上									◎		
中国語3Ⅰ▽	LANc200LA	中国語3Ⅰ▽	LANc200LA	中国語で書かれた比較的やさしい文章を、語釈を頼りに辞書無しでも読めるようになることが目標です。									◎		
中国語3Ⅱ▽	LANc200LA	中国語3Ⅱ▽	LANc200LA	同上									◎		
中国語4Ⅰ▽	LANc200LA	中国語4Ⅰ▽	LANc200LA	・中級レベルの中国語を聞き取り慣れたいとして、相手の意見や情報などを理解することができる。 ・中級レベルの中国語を聞き取り慣れたいとして、自分の考えや結果などを表現することができる。 ・中級レベルの中国語を聞き取り慣れたいとして、H&K級に合格できるレベルの中国語能力を身につける。 ・中国語圏の言語や文化に対する関心を養う。									◎		
中国語4Ⅱ▽	LANc200LA	中国語4Ⅱ▽	LANc200LA	同上									◎		
中国語(Ⅰ)Ⅰ★	LANc100LA	中国語(Ⅰ)Ⅰ★	LANc100LA	読む、書く、聞く、話す力をバランスよくつけるのが目標です。									◎		
中国語(Ⅰ)Ⅱ★	LANc100LA	中国語(Ⅰ)Ⅱ★	LANc100LA	同上									◎		
中国語(2)Ⅰ★	LANc100LA	中国語(2)Ⅰ★	LANc100LA	同上									◎		

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類													
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。		Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。		Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。		Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。		Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。		Ⅵ. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。		Ⅶ. 保健体育分野 1.身体活動の促進や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神状態や自己管理に関する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で求められる力であるとともに、他者との協調性、コミュニケーション・リーダーシップの養成、問題解決などを可能とするための知識や共同行動力などの育成につながる様々なスキルを獲得する。3.スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。	
カリキュラム（科目一覧）					記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目													
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要														
中国語(2)Ⅱ★	LANc100LA	中国語(2)Ⅱ★	LANc100LA	同上											◎			
中国語(3)Ⅰ★	LANc200LA	中国語(3)Ⅰ★	LANc200LA	基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。3級合格者は、成績評価がA+となる。											◎			
中国語(3)Ⅱ★	LANc200LA	中国語(3)Ⅱ★	LANc200LA	同上												◎		
中国語1◇	LANc100LA	中国語1◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）1級の取得に必要な語学力を身につけることを目標とする。												◎		
中国語2◇	LANc100LA	中国語2◇	LANc100LA	中国語の発音ができる。 文法の基礎を理解する。 自己紹介や日常会話などを表現できる。												◎		
中国語3◇	LANc100LA	中国語3◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）2級の取得するのに必要な中国語力を身につけることを目標とする。												◎		
中国語4◇	LANc100LA	中国語4◇	LANc100LA	発音の基礎を固める。 文法・構文を理解し、応用することができる。 一般的な会話の聞き取りと表現ができる。												◎		
中国語5◇	LANc100LA	中国語5◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）1級の取得に必要な語学力を身につけることを目標とする。												◎		
中国語6◇	LANc100LA	中国語6◇	LANc100LA	新HSK（漢語水平考試）2級の取得に必要な中国語力を身につけることができる。												◎		
中国語7◇	LANc200LA	中国語7◇	LANc200LA	半年後の上海外国語大学での授業にスムーズに入れることを目標としている。												◎		
中国語8◇	LANc200LA	中国語8◇	LANc200LA	HSKの3級および4級の合格に必要なリスニング力を身につける。												◎		
中国語1-Ⅰ■□	LANc100LA	中国語1-Ⅰ■□	LANc100LA	・中国語の正しい発音を身につける。 ・ピンインを正しく読めるようにする。 ・中国語の初級レベルの文法を理解する。												◎		
中国語1-Ⅱ■□	LANc100LA	中国語1-Ⅱ■□	LANc100LA	同上												◎		
中国語2-Ⅰ■□	LANc100LA	中国語2-Ⅰ■□	LANc100LA	同上												◎		
中国語2-Ⅱ■□	LANc100LA	中国語2-Ⅱ■□	LANc100LA	同上												◎		
中国語3-Ⅰ■	LANc200LA	中国語3-Ⅰ■	LANc200LA	基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。3級合格者は、成績評価がA+となる。												◎		
中国語3-Ⅱ■	LANc200LA	中国語3-Ⅱ■	LANc200LA	同上												◎		
中国語視聴覚初級Ⅰ●	LANc200LA	中国語視聴覚Ⅰ●	LANc200LA	中国語検定試験準4級・4級のヒアリング問題合格レベル												◎		
中国語視聴覚初級Ⅱ●	LANc200LA	中国語視聴覚Ⅱ●	LANc200LA	中国語検定試験4級ヒアリング問題合格レベル												◎		
中国語作文初級Ⅰ●	LANc200LA	中国語表現法Ⅰ●	LANc200LA	中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解できる段階まで力をつけることを目指します。												◎		
中国語作文初級Ⅱ●	LANc200LA	中国語表現法Ⅱ●	LANc200LA	中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解できる段階まで力をつけることを目指します。正しい声調で、自然なリズムで話せるようにも指導します。												◎		
中国語コミュニケーション基礎Ⅰ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅠ▽■□	LANc200LA	中国語によるコミュニケーションについては、先ず簡単な会話を交わすことよりスタートし、徐々に複雑な、いろいろな分野においての意思の疎通を交わせるようにするものの、基は自信を持って正しい発音を身につけることが目標とする。												◎		
中国語コミュニケーション基礎Ⅱ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅡ▽■□	LANc200LA	同上												◎		
中国語コミュニケーション初級Ⅰ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅠ▽■□	LANc200LA	学生は綺麗な発音を身につけ、日常会話ができるように。												◎		
中国語コミュニケーション初級Ⅱ●	LANc200LA	中国語コミュニケーションⅡ▽■□	LANc200LA	学生は表現力などの要なるスキルアップをし、日常の中国語のコミュニケーションが取れるように。												◎		

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践能力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。												Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。												Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。												Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。												Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。												Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を探検し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。												Ⅵ. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。												Ⅶ. 実務は有野 1.身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの育成、問題解決などを可能とするための協働性、社会性など、就業力（情報処理能力や市民行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通ずること、他者との理解を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
カリキュラム（科目一覧）					記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。 Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 Ⅵ. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 Ⅶ. 保健体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で求められるべきコミュニケーション・リーダーシップの養育、問題解決などを可能とするための知識や実践力などの育成につながる健康のスキルを涵養する。3. スポーツ活動を実践することで、他者との関係を深め、意欲で健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類									
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					Ⅰ. 導入科目分野（除情報学分野） Ⅱ. 人文科学分野 Ⅲ. 社会科学分野 Ⅳ. 自然科学分野 Ⅴ. 情報学分野 Ⅵ. 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 Ⅶ. 諸（外国）語分野 Ⅷ. 専攻科目分野（除情報学分野）									
カリキュラム（科目一覧） 科目凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ◇・・・国際文化 ＊・・・法 ◆・・・経営 □・・・キャリアデザイン					Ⅰ. 社会科学分野 Ⅱ. 人文科学分野 Ⅲ. 自然科学分野 Ⅳ. 情報学分野 Ⅴ. 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 Ⅶ. 諸（外国）語分野 Ⅷ. 専攻科目分野（除情報学分野）									
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目									
朝鮮語4C-II ■□	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーションII ●	LANK200LA	まず教科書にある会話を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。								◎		
朝鮮語5A-I ■□	LANK200LA	朝鮮語講義I ●	LANK200LA	・講義テキストの原文を作成・検討することで、朝鮮語の長い文章を正確に読む力を身につけていきます。 ・講義テキストに出てきた単語・慣用句、朝鮮語独特の表現、言い回しを整理することで、これまで学んできた文法事項を確認するとともに、朝鮮語の語彙力・表現力を高めることができます。 ・記行文・小説の内容を議論しながら、朝鮮の近現代史や現在の社会情勢についての理解を深めていきます。								◎		
朝鮮語5A-II ■□	LANK200LA	朝鮮語講義II ●	LANK200LA	・講義テキストの原文を作成・検討することで、朝鮮語の長い文章を正確に読む力を身につけていきます。 ・講義テキストに出てきた単語・慣用句、朝鮮語独特の表現、言い回しを整理することで、これまで学んできた文法事項を確認するとともに、朝鮮語の語彙力・表現力を高めることができます。 ・記行文の内容を議論しながら、朝鮮の近現代史や現在の社会情勢についての理解を深めていきます。								◎		
朝鮮語5B-I ■□	LANK200LA	朝鮮語表現法I ●	LANK200LA	実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、簡単な読み物を読んだり、身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。								◎		
朝鮮語5B-II ■□	LANK200LA	朝鮮語表現法II ●	LANK200LA	同上								◎		
総合科目 人文科学系														
漢字・漢文学A＊	LIT300LA	漢字・漢文学＊	LIT200LA	1. 作品を通じて、中国文学の知識と理解を深める。 2. 作品を通じて、中国史の流れを大体的に捉える。 3. 特定テーマを基に、中国の伝統的な思想の知識を深める。 4. 作品を通じて、日本をはじめとする他国の文化・文学との比較考察をする。			◎							
漢字・漢文学B＊	LIT300LA			同上			◎							
文芸創作講座A＊	LIT300LA	文芸創作講座＊	LIT200LA	(1)構想を練り、小説を完成することができる。 (2)文芸作品を冷静に分析することができる。 (3)読者に的確なアドバイスをを行うことができる。			◎							
文芸創作講座B＊	LIT300LA			(1)詩歌、短編小説、エッセイ、コラム、レビューなどを他者に向けて書くことができる。 (2)グループになって企画編集を行うことができる。 (3)メディアとは何かについて理解できる。			◎							
日本芸能論A＊	ART300LA	日本芸能史論＊	ART200LA	①芸能に関する基礎的な知識を習得し、ポイントをつかみながら鑑賞することができる。 ②研究の課題、調査・分析の方法等、芸能研究に必要なとされる基礎的な知識・スキルを身につける。 ③プレゼンテーション能力、ディスカッション能力を高める。 ④論理的で読解力のあるレポートを執筆できる。	○		◎							
日本芸能論B＊	ART300LA			同上	○		◎							
身体表現論A＊	ART300LA	身体表現論（パレエの世界）＊	ART200LA	・西洋における舞踊の歴史について考察し、叙述できる。 ・身体運動の社会的意義を考える認識枠組を身につける。 ・舞踊作品に対する審美眼、批評眼を身につける。			◎							
身体表現論B＊	ART300LA			・大衆文化における各種の身体表現について考察し、叙述できる。 ・身体運動を、生活に立脚した視点から考える認識枠組を身につける。 ・大衆文化の身体性について評価する批評眼を身につける。			◎							
美術論A＊	ART300LA	美術論＊	ART200LA	19世紀から20世紀中盤までの芸術の歩みを概観しながら、既存の価値体系を疑い更新してゆく芸術の運動について理解を深める。また、欧米と世界に広がっていった芸術のみならず、日本においてそれがどのように受容されていったのかについても目を向ける。			◎							
美術論B＊	ART300LA			20世紀中ごろから現代までの芸術の歩みを概観しながら、既存の価値体系を疑い更新してゆく芸術の運動について理解を深める。また、絵画や彫刻だけでなく、写真や映像、インスタレーション、関係などの豊かなものをあつた芸術家など、グローバルパブリケーションの関係について考えを深める。			◎							
芸術と人間A＊	ART300LA	芸術と人間＊	ART200LA	空間という角度から映画を捉えなおすことで、映画表現のツボを理解し、鑑賞力を深める。あわせて、表現技法や映画史の基本的知識を学ぶ。自分で観る映画のジャンル・年代・地域を拡げる。			◎							
芸術と人間B＊	ART300LA			同上			◎							
仏教思想論A＊	PHL300LA	仏教思想論＊	PHL200LA	・教団（仏陀）自身の思想・哲学は本来どのようなものであったのか、仏陀が説いたとされることばから考え、理解する。 ・教団の思想は、哲学思想史上、どのような思想・哲学とみなされるのか、その思想・哲学としての特徴を、比較思想的考察（西洋哲学思想との比較）を通して考え、理解を試みる。			◎							
仏教思想論B＊	PHL300LA			・インド仏教思想の歴史的發展を把握し、経典（教団・説法）後、大衆仏教（それ以外の思想）の発展と変遷を把握する。 ・仏教思想の発展と変遷を把握し、その思想を整理する。 ・経典・説法から大衆仏教にかけて、世界観・人生観が根本的にどのように変化したのかを考察する。 ・大衆仏教の発展と変遷、経典・説法から世界観・人生観が根本的にどのように変化したのかを考察する。 ・大衆仏教の発展と変遷、経典・説法から世界観・人生観が根本的にどのように変化したのかを考察する。			◎							
徳と倫理A＊	PHL300LA	徳と倫理A＊	PHL300LA	・古代・中世における倫理思想の主要な論点について理解を深める。 ・倫理学の論点について考察するとはどのようなことなのかを理解し、実践することができる。 ・様々な倫理思想に触れることで、自分自身の問題意識を深めることができる。			◎							
徳と倫理B＊	PHL300LA	徳と倫理B＊	PHL300LA	・近世・現代における倫理思想の主要な論点について理解を深める。 ・倫理学の論点について考察するとはどのようなことなのかを理解し、実践することができる。 ・様々な倫理思想に触れることで、自分自身の問題意識を深めることができる。			◎							
中国の民族と文化A＊	HIS300LA	中国の民族と文化＊	HIS200LA	漢文読解に必要な基礎知識を身につけること、漢文史料を実際に読むことでより明確な形で漢民族の歴史・文化への理解を構築することを目標とする。			◎		○					
中国の民族と文化B＊	HIS300LA			同上			◎		○					
イギリスと帝国A＊	HIS300LA	イギリスと帝国A＊	HIS300LA	・イギリス帝国の歴史とその特徴についての基本事項を理解する。 ・授業で学んだことを基礎にして、現代世界が直面するさまざまな問題をイギリス帝国史の視点から批判的に考察する力を修得する。			◎							
イギリスと帝国B＊	HIS300LA	イギリスと帝国B＊	HIS300LA	・南アフリカ戦争という歴史的事象を、さまざまな歴史の文脈に照らして考察する歴史的思考力を身につける。 ・具体的なテーマを素材に歴史学を「実践」することで、その方法や問題、意義などを体系的に理解する。			◎							

[illegible]

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類															
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。		Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。		Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え、探求の方法、表現力を養う。		Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。		Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。		Ⅴ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。		Ⅵ. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会文化に関する理解を深める。		Ⅶ. 専攻教育分野 1. 専攻分野の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神状態や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会に即して活躍する上で求められる態度や考えを身につけ、他者との協調性、社会性など、就業力（価値観・倫理観・社会性など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スゴートン行動を実践することにより、他者との関係を深め、豊かで健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。	
カリキュラム（科目一覧）																				
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ☆・・・文 ＊・・・法・文・経営・国際文化 ◆・・・経営 ▼・・・法・文・経営 ◎・・・国際文化 ＊・・・法 ◎・・・人間環境 □・・・キャリアデザイン																				
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
相対性理論と宇宙A＊	PHY300LA	相対性理論と宇宙＊	PHY200LA	相対性理論と宇宙B ・一般相対性理論の論理的な理解の習得。 ・一般相対性理論の効果が顕著になるような非常に重力の強い場所に行くことなどを想像する思考実験を行うことにより、宇宙における自然現象をより深く理解するための思考の柔軟さを養得する。						◎										
相対性理論と宇宙B＊	PHY300LA											◎								
現代の錬金術A＊	PHY300LA	現代の錬金術＊	PHY200LA	・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。 ・我々を構成している物質の成り立ちについて科学的な理解を持つことができる。						◎										
現代の錬金術B＊	PHY300LA			・自然現象や我々の生活を支えている科学技術を理解するための基礎知識を身につける。 ・我々を構成している物質の成り立ちについて科学的な理解を持つことができる。							◎									
原子核と素粒子A＊	PHY300LA	原子核と素粒子＊ -ミクロの世界-＊	PHY200LA	この講義では、原子核や素粒子を通してミクロの世界について、応用技術も含めて理解できるようにすることを目標としている。また元素の存在や原子の構造を理解することによって、「原子核と素粒子」での原子核・素粒子、宇宙についての理解の手助けとなる知識の習得を目標としている。新しい発見等を随時講義に取り上げながら、ミクロとマクロに対する現代物理学の最先端に接してもらう予定である。						◎										
原子核と素粒子B＊	PHY300LA			この講義では、原子核や素粒子を通してミクロの世界について、応用技術も含めて理解できるようにすることを目標としている。またミクロの世界を通してマクロである宇宙の進化を学ぶことによって、この広大な宇宙の中で、私たちの体や地球を作る材料はいついどどのようにして合成されたのかということも理解できるようにすることを目標としている。新しい発見等を随時講義に取り上げながら、ミクロとマクロに対する現代物理学の最先端に接してもらう予定である。						◎										
ボルボックス生物論A＊	BI0300LA	ボルボックス生物論A＊	BI0300LA	各テーマの背景や歴史を理解し、ボルボックスやその他の生物を用いた実験・観察とその結果の考察を行うことにより、対象物を正確に観察し記述する能力、問題解決能力を身につけます。						◎										
ボルボックス生物論B＊	BI0300LA	ボルボックス生物論B＊	BI0300LA	各テーマの背景や歴史を理解し、ボルボックスやその他の生物を用いた実験・観察とその結果の考察を行うことにより、対象物を正確に観察し記述する能力、問題解決能力を身につけます。						◎										
イオンの科学A＊	CHM300LA	イオンの科学＊	CHM200LA	イオンは、物質から電気エネルギーを取り出したり、美しい光沢を持った食糧の製造だけでなく、有機物の状態や見た目を変化させたり、化学反応を進める上でも重要な役割を果たしています。これらの現象とイオンの性質の関係を理解することで、身の回りの物質や製品についてより深い興味を引き出すことを目標とします。						◎										
イオンの科学B＊	CHM300LA			同上							◎									
環境の科学A＊	CHM300LA	—	—							◎										
環境の科学B＊	CHM300LA	—	—							◎										
物質の科学A＊	CHM300LA	物質科学＊	CHM200LA	本授業では、石けんからエッセンシャルオイルまで、徐々に身近な物質を幅広く取りあげます。化学実験を取り入れた授業を行い、各テーマに現れる物質の性質や反応について基礎的に理解することを目標とします。作成したものの一部は持ち帰ることが出来るので、授業に対する興味が増すと期待されます。また、これだけで化学を理解しただけでなくとも授業を理解できるように配慮いたします。	○					◎		○								
物質の科学B＊	CHM300LA			同上		○					◎		○							
I T リテラシー＊	PR1300LA	I T リテラシー＊	PR1200LA	講義形式で、情報技術に必要な基本的な知識を習得することを目標とする。計算をする問題だけでなく、社会科学分野での問題と情報通信技術との関わりについての話題にも関心を持ち、自分で解決する能力を養う。可能であれば、情報に関する初歩の資格試験に合格することを目標とする。						◎		○								
コンピュータ科学＊	PR1300LA			同上							◎		○							
人間と地球環境＊	BI0300LA	人間と地球環境＊	BI0200LA	・種々の環境問題を理解する上で不可欠な科学的基礎知識を取捨すること。 ・環境問題の科学的側面だけでなく、関連する社会的問題を理解すること。 ・各種問題の関連性を理解し、人間社会が直面している問題の全体像を把握すること。						◎										
Human Impact on the Global Environment＊	BI0300LA	Human impact on the global environment＊	BI0200LA	This course provides students with opportunities to learn about currently important ecological and social issues in English. As such, the course objectives are: - to understand basic scientific concepts required to comprehend various environmental problems, - to understand social problems related to the environmental problems dealt with in this course, and - to understand interrelated nature of these problems to grasp the big picture of the current state of human society.						◎										
教養ゼミⅠ（自然史 ～進化生物学：ヒト・自然・生物と文化のダイナミズム～）＊	BI0300LA	自然史＊	BI0200LA	命を考えるための基礎としての自然と人間についての価値観を考え、社会活動・社会生活の中に活かすことの出来るように説明できること。 年度の最後に、種々の資料を付き合わせて、各自の成果を発表にまとめる。					○	◎		○								
教養ゼミⅡ（自然史 ～進化生物学：ヒト・自然・生物と文化のダイナミズム～）＊	BI0300LA			同上						○	◎		○							
バイオイメージングの世界A＊	BAB300LA	バイオイメージングの世界A＊	BAB300LA	そのために、本授業ではデジカメを使って生物が生きている様子を記録し、その記録画像を動画として編集したり、画像解析ソフトで数値解析する事で生きている謎の解明に挑戦します。その過程で、生き物について学び、新しい発見をする喜びを体験して頂く事を目標とします。						◎										
バイオイメージングの世界B＊	BAB300LA	バイオイメージングの世界B＊	BAB300LA	春学期の「バイオイメージングの世界」で学んだ技術を利用して、各班ごとに、独自のテーマを設定して生命活動のしくみを画像記録して、その解明を行います。これらの活動を通じて、班ごとのプロジェクト遂行能力を身につけて頂くことを目標とします。						◎										
教養ゼミⅠ（持続可能社会のための化学）＊	CHM300LA	—	—	持続可能な社会を実現するために提唱されている構想は、科学技術の進歩によって実現可能に思われるものからいかにわしいものまで乱立しています。これらの構想の中から真に有効なものを見極めるためには、化学的視点に立った「ものの見方」が必要不可欠です。そのような持続可能な社会を実現するための化学を習得することが本授業の到達目標です。						◎										
教養ゼミⅡ（持続可能社会のための化学）＊	CHM300LA	—	—	同上						◎										
言語系																				
Issues in Modern Japanese society A＊	LANd300LA	—	—									◎								

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。 I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 II. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2. 人間とかわる歴史、文化、社会、生活の問題に接近する方法、スキルを習得する。3. 専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。 III. 自然科学分野 自然科学系のILAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 V. 英語分野 英語系科目（ILAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1. 世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2. 多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3. 専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 VII. 実修体育分野 1. 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2. 卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの発揮、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（情報技術能力や市民行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3. スポーツ活動を通じて、他者との関係を深め、意欲で健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
カリキュラム（科目一覧）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ★・・・法・文・経営・国際文化 ▼・・・法・文・経営 ＊・・・法 □・・・キャリアデザイン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要	記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
Issues in Modern Japanese society B*	LANG300LA	—	—								◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類							
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				Ⅰ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。 Ⅱ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え、2.、探求の方法、表現力を養う。 Ⅲ. 自然科学分野 自然科学系のI L A C科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。 Ⅳ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。 Ⅴ. 英語分野 英語系科目（I L A C科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を把握し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。 Ⅵ. 語（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。 Ⅶ. 専攻教育分野 1.専攻科目の基礎知識について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神状態や自己管理に関する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会に即して活動する上で働くべき態度であると考えられ、他者との協調、問題解決などを促進するための協働性、社会性など、就業力（価値観・能力）を育成するための育成につながる様々なスキルを獲得する。3.スポーツ活動を通じて、健康と健康を深め、豊かな健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。							
カリキュラム（科目一覧）				記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目							
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要							
フランス語表現法A*	LANF300LA	フランス語表現法Ⅰ*	LANF300LA	DELF/DALFの試験も視野に入れながら、フランス語でまとまった文章を書く能力を目指す。まずは、一文ごとの正しい文章構造を理解した上で、文章と文章との接続関係の重要性を意識できるようにする。							◎
フランス語表現法B*	LANF300LA	フランス語表現法Ⅱ*	LANF300LA	同上							◎
フランス語講読A*	LANF300LA	フランス語講読Ⅰ*	LANF300LA	仏検準2級から2級程度のレベル到達を目指す。							◎
フランス語講読B*	LANF300LA	フランス語講読Ⅱ*	LANF300LA	同上							◎
第三外国語としてのロシア語A*	LANr300LA	ロシア語初級Ⅰ*	LANr200LA	ロシア語の文字を読み書きすることができる。ロシア語の文法の基本を説明することができる。							◎
第三外国語としてのロシア語B*	LANr300LA	ロシア語初級Ⅱ*	LANr200LA	簡単な会話をロシア語で行える。必要最低限の情報をロシア語の文章から得る。またロシア語で伝えることができる。							◎
第三外国語としてのロシア語中級A*	LANr300LA	ロシア語中級Ⅰ*	LANr200LA	社会・文化に関する読んだ文書などをロシア語で朗読・理解できること。さらに同じレベルの文書の翻訳（露和・和露）ができること。							◎
第三外国語としてのロシア語中級B*	LANr300LA	ロシア語中級Ⅱ*	LANr200LA	同上							◎
実用ロシア語A*	LANr300LA	ロシア語コミュニケーションⅠ*	LANr300LA	授業で学んだテーマについてロシア語で会話ができること。ロシア語能力試験（T P K I）B1~B2レベルの文章を読み取りできること。同レベルのロシア語能力試験（T P K I）会話試験（Д и а л о г и ч е с к а я р е ч ь）に向けて準備できること。							◎
実用ロシア語B*	LANr300LA	ロシア語コミュニケーションⅡ*	LANr300LA	同上							◎
ロシア語講読A*	LANr300LA	ロシア語講読Ⅰ*	LANr300LA	辞書を用いてロシア語の文章を読解することができる。ロシア語の質問を理解し、的確にロシア語で答えることができる。読解した内容を自分の言葉（ロシア語、日本語）で表現することができる。							◎
ロシア語講読B*	LANr300LA	ロシア語講読Ⅱ*	LANr300LA	辞書を使ってロシア語の文章を読解することができる。ロシア語の質問を理解し、的確に答えることができる。読解した内容を自分の言葉で表現することができる。やさしい日本語の文章をロシア語で表現することができる。ロシア語の会話を理解し、的確に答えることができる。							◎
時事ロシア語A*	LANr300LA	時事ロシア語Ⅰ*	LANr300LA	授業で学んだテーマに関するロシア語の新聞記事などの読解ができること。そのテーマに関するロシア語能力試験（T P K I）B1~B2レベルの文章を読み取りできること。							◎
時事ロシア語B*	LANr300LA	時事ロシア語Ⅱ*	LANr300LA	同上							◎
第三外国語としての中国語A*	LANc300LA	中国語初級Ⅰ*	LANc200LA	・ピンインで記された中国語の音節を正しく発音でき、読めるようになる。・二音節の単語（チャン）を正確に発音でき、それと同じ音形・パターンの別の語句の発音に適用できるようになる。・初歩的な文法の学習を通じて、中国語を構成する文（法）成分を認識、識別できるようになる。							◎
第三外国語としての中国語B*	LANc300LA	中国語初級Ⅱ*	LANc200LA	発音の知識、能力の定着を目指すと共に、特に指象的に文法的機能を受け持つ、いわゆる虚詞の習熟に意を用いる。							◎
第三外国語としての中国語中級A*	LANc300LA	中国語中級Ⅰ*	LANc200LA	休講							◎
第三外国語としての中国語中級B*	LANc300LA	中国語中級Ⅱ*	LANc200LA	休講							◎
中国語視聴覚中級A*	LANc300LA	—	—	2年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。正確な標準語の発音を身につけて、より自然な中国語を身に付けることを目標とする。							◎
中国語視聴覚中級B*	LANc300LA	—	—	同上							◎
中国語コミュニケーション中級A*	LANc300LA	中国語コミュニケーションⅢⅣ	LANc300LA	これまで学習した中国語の文法・文型が定着し、自分の学生生活（留学生活も含む）だけでなく、日本社会の事情や慣習、または留学先で展開した異文化社会のことを中国語で紹介することができる。また、他の人のお話が聞き取れ、そのうえ、質問をしたりして互いに関わりあうことができる。							◎
中国語コミュニケーション中級B*	LANc300LA	中国語コミュニケーションⅣ*	LANc300LA	同上							◎
中国語講読A*	LANc300LA	中国語講読Ⅰ*	LANc300LA	中国語の語彙を増やし、文章に慣れ、読解力を深めることを目指します。							◎
中国語講読B*	LANc300LA	中国語講読Ⅱ*	LANc300LA	同上							◎
中国語講読中級A*	LANc300LA	時事中国語Ⅰ*	LANc300LA	簡単な中国の新聞を読むことができ、中検等の実力テストで得点20%増を目指す。							◎

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					Ⅰ. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践能力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。			Ⅱ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。			Ⅲ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸相に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。			Ⅳ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。			Ⅴ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。			Ⅵ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。			Ⅶ. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。			Ⅷ. 実務能力分野 1.身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己実現に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者との対話・問題解決などを促進するための協働性、社会性など、就業力（価値観・倫理・コミュニケーション・リーダーシップの育成）や自己意識など、の育成につながる様々なスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通じて、心身の健康を深め、豊かな健康的な学生生活や社会生活を送る能力を獲得する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
カリキュラム（科目一覧）					記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング（2017年度以降入学者）	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング（2016年度以前入学者）	到達目標概要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）				学習目標の分類																
幅広く深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 ※詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu				0. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践知識・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。																
カリキュラム（科目一覧）				I. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。																
科目名凡例一覧（履修対象学部） ●・・・法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン ★・・・法・文・経営 マ・・・法・文・経営 ・・・法 ロ・・・キャリアデザイン				II. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である、ものの見方・考え方、探求の方法、表現力を養う。																
				III. 自然科学分野 自然科学系のI L A C科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。																
				IV. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。																
				V. 英語分野 英語系科目（I L A C科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通して、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。																
				VI. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。																
				VII. 保健体育分野 1.身体運動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な精神状態や自己管理に資する基礎的な知識や態度を涵養する。2.卒業後の実社会において活躍する上で極めて重要であると考えられる、他者とのコミュニケーション、リーダーシップの獲得、問題解決などを可能とするための協調性、社会性など、就業力（価値観・倫理観・コミュニケーション能力や共同行動力など）の育成につながる様々なスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通じて、他者との関係を深め、意欲で健康的な学生生活や社会生活を送る能力を涵養する。																
科目名称（2017年度以降入学者）				ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要							記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目　○：成果を上げるうえで関連する科目						
教養ゼミⅠ（人物と映像からみる「ポピュリズム」）	ARSa300LA	—	—	必ずしも現代の西ヨーロッパについて専門的に学んだことのない方をふくめ、これからの時代を生きていく人びとに必要な民主主義にかなう教養（市民性の意味におけるcitizenship）を身につける。													◎			
教養ゼミⅡ（人物と映像からみる「移民社会」）	ARSa300LA	—	—	同上														◎		
教養ゼミⅠ（グローバル化と日本：グローバルヒストリーにおける日本）＊	ARSa300LA	—	—	De cours, de type séminaire général, s'adresse à des étudiants confirmés, notamment à ceux qui reviennent de France ou à ceux qui vont y aller. Ce cours prépare directement à un séjour en université francophone (cf. la méthodologie de recherche) mais aussi aux examens de type DELF (niveau B1) voire "kantai-shiken". (この授業は中上級者向きです)														◎		
教養ゼミⅡ（ヨーロッパの（国民）アイデンティティはどう創られてきたのか）＊	ARSa300LA	—	—	De cours s'adresse à des étudiants relativement confirmés (B1), notamment à ceux qui reviennent de France ou à ceux qui vont y aller. Il prépare aussi aux examens de type DELF ou "Kantai-shiken". Il prépare enfin à un séjour universitaire en France. Le plaisir de la lecture se doublera d'une meilleure compréhension et production de l'écrit, sans oublier l'oral. (この授業は中上級者向きです)														◎		
教養ゼミⅠ（中国語圏の街・食・歴史）＊	ARSe300LA	—	—	・映像資料の鑑賞・文獻の翻訳を通して、中国語運用能力の向上を目指す。 ・中国の地理、地域の特徴、食料、娯楽方法、年中行事、生活習慣などへの調査を通して、多角的に食文化への理解を深める。 ・各自で中華料理店を訪れ、地域の特徴のあるメニューを調査し、授業で得た知見を経験として身につける。														◎		
教養ゼミⅡ（中国語圏の街・食・歴史）＊	ARSe300LA	—	—	同上														◎		
教養ゼミⅠ（スペイン語圏の文化と社会を読み解く（スペイン前近代史））＊	ARSa300LA	—	—	(1) スペイン前近代史に関する基本的な理解を得る。 (2) 歴史的視座から、現在のスペインの勢力と諸問題に対する理解と関心を深める。 (3) 上述の(1)・(2)に関する各自の考えを、プレゼンテーションとディベート、そして学期末レポートにおいて言語化することができるようになる。														◎		
教養ゼミⅡ（スペイン語圏の文化と社会を読み解く（スペイン近現代史））＊	ARSa300LA	—	—	同上														◎		
健康・スポーツ科学系																				
スポーツ科学A＊	HSS300LA	スポーツ科学Ⅰ＊	HSS200LA	・トレーニングの基礎的な理論と方法を習得する。 ・個々の目標達成に資する独自のトレーニングプログラムを考案する。 ・トレーニングが、身体的健康だけでなく心理的・社会的健康にも寄与する一手段となることを理解する。															◎	
スポーツ科学B＊	HSS300LA	スポーツ科学Ⅱ＊	HSS200LA	同上															◎	
エビデンスから学ぶ健康と身体の変化A＊	HSS300LA	—	—																◎	
エビデンスから学ぶ健康と身体の変化B＊	HSS300LA	—	—																◎	
データから考えるスポーツ政策A＊	HSS300LA	—	—																◎	
データから考えるスポーツ政策B＊	HSS300LA	—	—																◎	
教養ゼミⅠ（こころと体のコンディショニング）＊	HSS300LA	—	—	本講義において「コンディショニング」および「コンディショニング」を理解することが目標である。コンディショニングの目的、要素・評価方法を学習する。競技力向上、傷害予防のためのコンディショニングにおけるアプローチ方法を理解し、現場に即したコンディショニングプログラムの立案ができる能力を習得することを目標とする。															◎	
教養ゼミⅡ（こころと体のコンディショニング）＊	HSS300LA	—	—																◎	
基礎科目（GPP/SCOPE）※全在学学生共通																				
基礎科目																				
人文科学分野																				
Elementary Humanities A◆■	ART100LA	—	—	You will: ・ learn to recognize important works of Japanese art and representative examples of Japanese traditional music; ・ learn how to study a particular work in detail, situating it within the flow of Japan's cultural history, and analyzing its structural components; ・ gain a broad grasp of Japanese cultural history, including elements (such as various genres of performing arts) that are often lacking in courses on the Japanese arts.															◎	
Elementary Humanities B◆■	ARSa100LA	—	—	During this course, through regular exposure to a variety of audio-visual material, students will have the opportunity to sharpen their listening skills. Follow-up pair-work comprehension questions, discussion & structured conversation practice will also give them the opportunity to improve their oral skills. Finally students will be encouraged to reflect on their own culture & society as they learn about UK.															◎	
社会科学分野																				
Elementary Social Science A◆■	POL100LA	—	—	Students are expected to understand the basic concepts of international relations and use them as analytical tools to understand contemporary issues in East Asia through more insightful discussion and substantial dialogues.															◎	
Elementary Social Science B◆■	POL100LA	—	—	Students will have a firm understanding of the issues related to population, reproductive health, gender and youth, and how the United Nations works to alleviate these issues.															◎	
自然科学分野																				
Elementary Mathematics A◆■	MAT100LA	—	—	At the end of this course, students will demonstrate the ability to perform different operations involving algebraic expressions, to graph linear and quadratic functions, and to graph polynomial, rational, algebraic, exponential and logarithmic functions.															◎	
Elementary Mathematics B◆■	MAT100LA	—	—	Students will become proficient in techniques of differentiation, understand the concept of rate of change and how to use it to solve real world problems.															◎	
アカデミックスキル																				
Academic Literacy A◆■	LANe100LA	—	—	Students learn the basics of library research, read academic texts, and listen to academic lectures, while practising critical thinking. Please bring the results of any "Standardized Test" you have completed (e.g. TOEFL®, TOEIC®, IELTS®, or Eiken) to the first class in April.															◎	
Academic Literacy B◆■	LANe100LA	—	—	Students continue to learn how to conduct library research, and read and listen to more advanced academic texts and lectures, while practising critical thinking and referencing skills. Based on the class material, the students instructed as well as individual research, students will develop the skills to participate in group discussions and give reports, will improve presentation skills, and will be able to use the results of their research to solve problems. Students who passed the Academic Literacy A course will be exempted from this subject.															◎	

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）					学習目標の分類															
幅広い深い教養および総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するため、専門教育科目と共にILAC（市ヶ谷基礎）科目をもって学部教育課程を構成する。 詳細は所属学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を参照のこと。 【参照先URL】 http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/rinen/hoshin/mokuhyo/gakubu					Ⅰ. 導入科目分野（除情報学分野） 大学生として必要なリテラシー能力・キャリア関連科目を中心とした社会に役立つ実践能力・母校の歴史と現状を把握し本学で学ぶ意義を理解する能力を涵養する。		Ⅱ. 人文科学分野 文学系・思想系・歴史系の各学問分野における知見を身につけ、現在を考察し、未来を展望しうる認識力・判断力・思考力・想像力を養う。		Ⅲ. 社会科学分野 社会科学領域の学的基本にある、思想、方法、理論を多面的に学ぶことができる。2.人間とかわる歴史、文化、社会、生活の諸問題に接近する方法、スキルを習得する。3.専門領域へ展開する基礎力である。ものの見方・考え、力、探求の方法、表現力を養う。		Ⅳ. 自然科学分野 自然科学系のⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目を通じて、数学・科学リテラシーを修得し、現代科学が社会に及ぼす影響までを理解すること。		Ⅴ. 情報学分野 情報を取捨選択して受け取り、自分なりに加工して発信する方法を学び、未来の新しい情報機器やソフトウェアに柔軟に対応していく姿勢を身につける。		Ⅵ. 英語分野 英語系科目（ⅠLAC科目（基礎科目）・総合科目）の学習を通じて、以下の知識や能力を涵養する。 1.世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力。2.多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析する能力。3.専門課程での研究言語および国際語としての英語の運用能力向上のための知識・技能・継続的学習態度。		Ⅶ. 諸（外国）語分野 英語以外の外国語を学び、その基礎を習得する。それにより、日本語や英語を相対化するとともに、そのことばが使われている言語圏の社会、文化に関する理解を深める。		Ⅷ. 保健体育分野 1.身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的に健康な生活を送る能力を涵養する。2.卒業後の実社会に即して活動する上で極めて重要であると考えられる、他者との協調性、社会性など、就業力（価値観・倫理・コミュニケーション・リーダーシップの育成）や市民性など、の育成につながる様々なスキルを涵養する。3.スポーツ活動を通して、健康と生活や社会生活とを結ぶ能力を涵養する。	
カリキュラム（科目一覧）					記号凡例 ◎：成果を上げるうえで密接に関連する科目 ○：成果を上げるうえで関連する科目															
科目名称（2017年度以降入学者）	ナンバリング (2017年度以降入学者)	科目名称（2016年度以前入学者）	ナンバリング (2016年度以前入学者)	到達目標概要																
College Writing A◆■	LANe100LA	—	—	Students practice the writing process such as: choosing a topic, making outlines and editing drafts.									◎							
College Writing B◆■	LANe100LA	—	—	Students practice writing various kinds of essays (e.g. comparative essays, cause/effect essays, etc.) based on individual research, while learning how to construct essay structures and to reference source materials by reading various model essays. Please bring the results of any "Standardised Test" you have completed (e.g. TOEFL・TOEIC・IELTS or Eiken) to the first class in April.									◎							
保健体育分野																				
Elementary Health and Physical Education ◆■	HSS100LA	—	—	・Learning about various ways of exercising ・Understanding the basics of healthy lifestyle ・Learning about basic self control and its importance ・Exercising simple decision making, leadership, communication in a dependent, co-dependent environment. ・Creating a demand for future self-education, self-development													◎			
外国語科目 選択基礎科目 情報学分野																				
Elementary Information Technology◆■	PRI100LA	—	—	You will never get be drowned in the information sea and can create a new business using information technology after this course.								◎								
キャリア分野																				
Elementary Career Development◆■	CAR100LA	—	—	・To be well trained on writing key concepts and on treating information. ・To learn how to collect, how to evaluate and how to make publication. ・To understand connection between university studies and business skills. ・To strengthen communication skills.	◎															
リベラルアーツ科目 情報学分野																				
Information Technology◆■	PRI200LA	—	—	You will never get be drowned in the information sea and can create a new business using information technology after this course.								◎								
人文科学分野																				
Humanities A◆■	ART200LA	—	—	You will: ・Learn to recognize important works of Japanese art and representative elements of Japanese traditional music. ・Learn how to study a particular work in detail, situating it within the flow of Japan's cultural history, and analyzing its structural components. ・Gain a broad grasp of Japanese cultural history, including elements (such as various genres of performing arts) that are often lacking in courses on the Japanese arts.				◎												
Humanities B◆■	ARSc200LA	—	—	Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the 1st from the end of World War II to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how these events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.				◎												
社会科学分野																				
Social Science A◆■	POL200LA	—	—	Students are expected to understand the basic concepts of international relations and use them as analytical tools to understand contemporary issues in East Asia through more insightful discussion and substantial dialogues.					◎											
Social Science B◆■	POL200LA	—	—	Upon completing this class, students should be able to: ・Identify the major parties within the study of Japanese political economy, be able to engage participants in their conversation both orally and in written form, and to be capable of applying learning from this field to the analysis of contemporary political economy in other regional contexts.					◎											
自然科学分野																				
Natural Science A◆■	BLS200LA	—	—	This course provides students with opportunities to learn about currently important ecological and social issues in English. As such, the course objectives are: - to understand basic scientific concepts required to comprehend various environmental problems, - to understand social problems related to the environmental problem dealt with in this course, and - to understand interrelated nature of these problems to grasp the big picture of the current state of human society.						◎										
Natural Science B◆■	BSc200LA	—	—	The goal of this course is for student to learn environmental problems through chemistry. The objective: - entirely environmental problems in the world, - to learn then you understand basic chemistry, - they think about solving the imminent problems by themselves.						◎										
言語教育（英語）分野																				
Intercultural Communication A◆■	HIS200LA	—	—	Students will understand the importance of how we learn from the past, then we can go to the present. The main objective of this course is: 1. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world. 2. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world. 3. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world. 4. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world.								◎								
Intercultural Communication B◆■	LMG200LA	—	—	In this course, you will: - cultivate your understanding of the relationship between culture, language, and literacy, - be able to analyze examples of and reasons for culture change and learn to use concepts such as stereotypes, generalization, othering, and marginalization in your analysis, - be able to reflect on your international experiences and identities using these concepts, and - be able to relate to others respectfully to come up with constructive solutions to cultural misunderstanding.								◎								
Intercultural Communication C◆■	POL200LA	—	—	In this course, you will become able to: - cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning/function and context, - become familiar with the notions of face and politeness, - collect and analyze authentic language samples, - understand cultural values and orientations behind language use in world languages. The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful and peaceful conflict resolutions.								◎								
Intercultural Communication D◆■	LMG200LA	—	—	In this course, you will become able to 1) understand and appreciate artistic form of language education, 2) understand social activism behind artistic expressions, and 3) participate in an art-based approach to language learning/teaching using your creativity. You will also reflect on your own reactions to an artistic approach to language education and social justice, and consider how this learning may influence your worldview.								◎								
言語教育（諸語）分野																				
Intercultural Communication E◆■	ARSa200LA	—	—	The goal of this course is to help students with critical thinking and creative skills to be able to use them in the future. The main objective of this course is: 1. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world. 2. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world. 3. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world. 4. Students will learn the importance of history, culture, and society in the world.										◎						
Intercultural Communication F◆■	ARSa200LA	—	—	To understand the history, formation and development of French culture in North America.												◎				
保健体育分野																				
Health and Physical Education◆■	HSS200LA	—	—	The goals of this class are: ・to understand menstrual function and women's physicality, ・to understand the concepts of reproductive health, rights, and freedom, ・to consider how we can empower girls and women, and ・to develop new ideas on health practices for girls and women.													◎			
キャリア分野																				
Career Development Skills◆■	CAR200LA	—	—	・To be well prepared to work with Japanese. ・To understand what is happening in the various business sites. ・"Seeing is Believing" is adopted to approach on goal.	◎															